

タイ人日本語学習者の辞書使用実態と語彙教材作成の試み

タサニー・メーターピスイット
タマサート大学教養学部日本語学科

キーワード：語彙学習 辞書使用 語彙教材 自律学習

1. はじめに

本研究の目的は2つある。タイ人日本語学習者の辞書使用の実態を引き続き調査し、一昨年の調査結果と比較し分析を行い、現在使用している辞書の改善すべきところはないかを検討することである。2つ目は、調査の結果、学習者の要望として挙げられている語彙理解への助けとしての辞書機能を、辞書改善だけではなく、語彙学習教材の形で補うことを検討することである。本稿の構成は次のようになる。日本語学習者の辞書使用実態に関する先行研究を概観し、タイ人日本語学習者を対象としたアンケート調査結果を比較し、タイでの辞書使用実態について記述する。また、語彙の自律学習を支援するために、既存の辞書にはない、類義語の用法説明を加えたり、音声付きの語彙学習教材を提示することを試みたい。

2. 先行研究

日本語学習者の辞書使用実態を調査する研究には以下のものが挙げられる。

2. 1 金庭, 川村, 前田 (2006)

「辞書ツール多言語化プロジェクト」(川村よし子)の一環として行った電子辞書編纂のための基礎調査の一つとして、国内と海外の日本語学習者 228 名を対象に辞書利用のアンケート調査が行われた。学習者の背景(漢字圏・非漢字圏、習熟度等)の違いにより使い方が異なるという結果が報告されている。

- ① 漢字圏の学習者は電子辞書を多く利用するが、非漢字圏の学習者はウェブ辞書の利用が多い。漢字圏では、バイリンガル辞書も日日辞書も利用しているが、非漢字圏ではバイリンガル辞書を利用するものが多い。
- ② 漢字圏では読み方と意味に注目しているが、非漢字圏では意味、読み方、書き方に注目している。
- ③ 初級学習者は「意味」に、中級・上級学習者は「例文」に、上級学習者は「読み方」「慣用句」に関心を持っている。

語彙教育の面において、レベルに応じた情報を与えるべきだという指摘がなされ、示すべき例文の質が学習者の学習を促進すると述べている。

2. 2 鈴木 (2012a, b, c, 2014 年)

作文で日本語学習者が産出した不自然な表現は、辞書によるものではないかという問いから辞書使用の実態を調査するに至った。2011 年に 117 名の留学生を対象に実施した辞書使用に関するアンケート・インタビュー調査研究である。調査結果は以下のようなものである。

1. 電子辞書の使用が71%, ウェブ上のオンライン辞書の使用が45%。書籍の辞書, PCのアプリ, 携帯電話のアプリの使用は2-3割に留まっている。
2. 辞書使用率が高いのは, 原稿, スピーチ, 作文のような文章産出の課題を与えられた時や, 学術論文を読んだり書いたりする時である。
3. 辞書に良質な例文をアクセス可能な形で豊富に提示することが求められる。

調査結果を踏まえ, 文章表現カリキュラムなどに辞書使用のスキル養成を取り入れることや, Can-do 記述に, 学習者の辞書使用を積極的・肯定的に位置づけることが必要とされ, 日本語学習者の辞書使用についての Can-do 記述は鈴木 (2014, 36) で提案されている。これまでの指導内容を明確な目標として設定しているところは大変参考になる。

2. 3 メーターピスィット (2013)

タイ国内でも, インターネットの普及に伴い学習者の辞書使用の形態が変わりつつある。2012年11月に91名のタイ人日本語学習者を対象に実施した辞書使用の状況に関する調査結果は以下のようなものである。

1. 学習者は書籍の辞書はあまり使用しない。鈴木 (2012b) と同様の結果となっている。
2. 電子辞書はそれほど浸透していない。鈴木 (2012b) と異なる結果になっている。
3. ウェブ上のオンライン辞書の使用率が高い。但し, 学習者がよく利用するサイトは金庭他 (2006) 及び鈴木 (2012b) と異なっている。
4. 9割の学生が携帯電話用の辞書アプリケーションを知っており, よく使用している。今後の携帯辞書の活用は注目すべき点である。

以上のようなタイ人日本語学習者の辞書使用の傾向がみられるが, 一人一台の携帯電話の時代が到来し, タブレットやスマートフォンの普及率も急上昇中の社会においては, 今後の学習者の辞書使用形態の変容も見逃せない。

3. タイ日, 日タイ辞書事情

タイにおける日本語教育は 1960 年代に始まったと言われる。日本語を学習する上で, 最も重要なツールの一つが辞書である。タイ人学習者が使用している辞書にはどのようなものがあるか, 以下に, 書籍の辞書, 電子辞書, ウェブ辞書, 携帯電話用の辞書アプリの順で紹介していく。

3. 1 書籍の辞書

タイ人向けの日本語学習の辞書は 1970 年代から出始めている。現在に至っては, 簡易辞書から専門用語の辞典まで40タイトルほどある。教科書用の単語集, CD 辞書などを含めれば, おそらく50タイトル以上あると思われる。

40タイトルを種類別に見てみると, 漢字辞典が4タイトル, 文型辞典, 用法辞典, 用例集が6タイトル, 専門用語辞典が7タイトル, その他は語彙の意味を簡単に記述する日タイ, タイ日, 日タイ英の対訳辞典である。日本語を学習するタイ人のみならず, タイ語を学習する日本人のための辞書も若干見られる。これらの書籍の辞書は多くのタイ人日本語学習者が利用しているが, 電子化はされていない。タイ国内において日本語教育関連の書籍を最も多く出版している日泰技術振興協会 (通称ソーソーター) の出版社からは, 12種類の書籍の辞典が出版

されているが、現在書店で扱っているのは10種類。また、紀伊国屋書店（タイランド）が現在扱っている辞書は、3種類である。表1を参照されたい。

表1 タイで出版されている書籍の辞書

番	タイトル	頁数	初版
1	漢字辞典（携帯タイプ） 1945 字（タイ語版）	1592	2010
2*	日・タイ辞典 40000 語	1120	2005
3	日タイ口語辞典 (Edward G. Seidensticker, Michihiro Matsumoto)	968	2000
4	日本語学習使い分け辞典 (Masayoshi Hirose, Kakuko Shoji)	768	2007
5	日本語文型辞典 (Group Jammassy)	856	2011
6*	実用タイ日辞典用例集 8000 語	1056	2011
7*	日・タイ・英技術用語辞典	386	1998
8*	タイ日観光用語辞典 14000 語	544	2002
9	ビジネス日本語用例辞典 2220 語 (JAL Academy)	544	2010
10*	日・タイ・英社内通訳用語辞典 20000 語	464	2013
11	Kodansha Compact Kanji (タイ語版)	912	1999
12	Kodansha's Furigana Japanese-Thai Dictionary 30,000 語	611	2003
13	日本語基本文法辞典 (Japan Times)	634	2009

備考：1-10 がソーソーの出版物で、11-13 が紀伊国屋書店で扱っている辞書である。

*がついている辞典はタイ人によって編纂された辞書である。

3. 2 電子辞書

メーターピスィット（2013）では、日本で1980年代に広まり始めた電子辞書はタイで入手することが困難であったため、タイ人日本語学習者の間にはあまり浸透しなかったことが述べられた。今回の調べによれば、タイ国内で販売されている電子辞書には、Cyber dict, Talking dict, Easy dict など、選択できる機種が増えている。中国語学習が盛んにおこなわれるようになったからではないかと考えられる。Cyber Dict には、収録語数 63000 語の『サンタロー日タイ辞書』も搭載されており、音声機能が付いているモデルも登場したが、一般的には、多言語の電子辞書で、主に旅行の際に使用される語彙・表現やサバイバル表現を扱った電子辞書が多く、日タイ辞典専用の電子辞書はまだ存在しない。

スマートフォンやタブレットが普及し、インターネットに接続すれば、手軽にウェブ辞書や携帯辞書アプリが使用できる時代であるが、タイ人の日本語学習者にとっては、信頼できる日タイ辞典専用の電子辞書の登場が待たれる。

3. 3 ウェブ辞書

ウェブ辞書にはいろいろな種類があるが、日タイ辞書を提供しているものには以下のものがあり、今後も無料で使用可能なウェブ辞書が続々と登場すると予想される。

表2 日タイ、タイ日ウェブ辞書

	名称	URL	開始時期
1	ロンドゥー	http://dict.longdo.com/search/	2003
2	ジェーティーディック	www.jtdic.com	2004
3	ジェー・ドラディック	http://www.j-doradic.com/	2009
4	タイの人々のための 日タイ・タイ日辞典	http://cblle.tufts.ac.jp/dic/th/jath/	2010
5	Weblio タイ語辞典	http://tjtt.weblio.jp/category/nbtth	2014
6	鍋田日タイ辞書	http://www.nabeta.tk/	2014
7	学習語彙・用例集	http://www.thai-rpt-jp.com/	2014

備考：1～4の解説はメーターピスィット（2013）を参照されたい。

ア) Weblio タイ語辞典 <http://tjtt.weblio.jp/category/nbtth>

2014年に公開された、無料の発音記号付きタイ日辞書で、収録語数約5万語。タイ語、発音、同義の日本語、解説の項目がある。検索画面を以下に示す。



下線の単語をクリックすると、関連の語彙へジャンプできる。このサイトにデータを提供しているのは、鍋田日タイ辞書 (<http://www.nabeta.tk/>) である。

イ) 学習語彙・用例集 <http://www.thai-rpt-jp.com/>

日本における教科学習の語彙が日タイ対訳で5000語（7000例文付き）それに加え、「学校用語」1300語、「高校の家庭科用語」780語、「高校の保健体育用語」540語も収録されている。検索システムは、タイのチュラロンコン大学の先生の協力により完成したもので、データの公開に至るまでには、様々な団体、グループ、個人がボランティアとして参加している。このウェブ辞書は基本的に日本で生活しているタイ人、殊に学校教育を受ける青少年を対象に作成されている。

3. 4 携帯電話用の辞書アプリ

携帯用の辞書アプリはそのほとんどが無料ソフトであり、書籍の辞書に比べると信頼性に欠けるものが多いが、いつでもどこでも検索できるので、人気が高まってきているようである。様々なアプリがある。「PDIC」、「Imiwa?」、「Aedict」、「makimono」、「Tあ NGO MASTER」、「Kanji

recognizer」等。

以上、各種の辞書について概観した。次に、タイ人日本語学習者が日本語を学習する際、どのような辞書を用いているかのアンケート調査について述べる。

4. 辞書使用に関するアンケート調査

アンケート調査の概要は以下のとおりである。

- (1) 調査時期：2014年9月から約2ヶ月間
- (2) 調査方法：対象者に対して協力依頼メールを送信の上、オンラインアンケートに回答してもらう方式
- (3) 調査言語：タイ語
- (4) 調査対象：タマサート大学在籍中の日本語学習者74名
- (5) 調査内容：鈴木智美（2012）の質問項目を参考にしたもの

4. 1 所持している辞書について

所持している書籍の辞書について、それぞれどのような辞書を使用しているかを調べた。

表3 所持している書籍の辞書の使用（複数回答可）

	2012年		2014年	
	合計	(%)	合計	(%)
回答者総数				
日タイ辞典	68	75	54	73
漢字辞典	56	62	42	57
タイ日辞典	36	40	20	27
文型辞典	20	22	17	23
専門用語辞典	8	9	10	14
国語辞典	7	8	6	8
和英辞典	7	8	9	12
英和辞典	5	5	4	5
持っていない	4	4	9	12

2014年の調査においても、2012年と同様の結果が出ている。つまり、大半の学生は基本的に日タイ辞典と漢字辞典を所持している。但し、書籍の辞書を持っていない学生の割合が4.4%から12.6%と1割以上に上がった。書籍の辞書離れ状態が起きているのではないかと考えられる。

4. 2 各タイプの辞書の使用頻度について

以下の表は、辞書を使用する頻度を表すものである。

今回の調査では、8割以上の学生が辞書をほぼ毎日使用している。しかも、最もよく使用しているのは、携帯電話用の辞書アプリで、次はウェブ辞書である。約半数の学生は書籍タイプ

の辞書や電子辞書を全く使用しないと回答している。

表4 各タイプの辞書の使用頻度

辞書の使用頻度	全然使わない		月に2-3回		週に1-2回		週に3-4回		毎日	
	5	4	4	2	10	4	27	21	45	43
辞書の使用頻度	5	4	4	2	10	4	27	21	45	43
書籍タイプの辞書の使用頻度	30	32	37	23	16	12	8	5	0	2
電子辞書の使用頻度	31	41	7	12	12	6	17	9	21	6
携帯用アプリ辞書の使用頻度	16	6	6	0	8	7	21	17	40	44
ウェブ辞書の使用頻度	1	5	11	11	26	14	28	25	24	19

※左は2012年の結果、右は2014年の結果である。

4. 3 辞書の使用目的について

辞書の使用目的についてであるが、以下の9項目を選択肢としたところ、以下の回答が得られた。

表5 辞書の使用目的

辞書の使用目的	2012年		2014年	
	人数	(%)	人数	(%)
1 漢字の読みなどを確認するため	84	93	72	97
2 授業の課題、作文やスピーチの原稿等を作るため	82	90	69	93
3 授業中、わからない単語の意味を調べるため	80	88	68	92
4 予習復習など日本語の勉強のため	77	85	65	87
5 勉強以外、娯楽などの書籍を読んだり映画を観賞したりするため	61	67	51	69
6 日本語の雑誌や新聞を読むため	51	56	55	74
7 文型文法を確認するため	48	53	36	49
8 日本人の友達とやりとりするメールを書くため	45	49	40	54
9 日本人教師に手紙やメールを書くため	32	35	34	46

タイ人学習者にとっては、辞書の使用目的は前回と同様の結果になっている。つまり、漢字の読みなどを確認するため、授業の課題作文などを作るため、授業中、わからない単語の意味を調べるために辞書を使用することが多い。

4. 4 デジタル辞書に関する知識について

ウェブ辞書には、日タイ辞書と国語辞典と多言語辞書の3つのタイプがあるが、それぞれの辞書タイプを知っているか、あるいは、それらの辞書を使用しているかについて質問をした。以下は、そのうち、日タイ辞書についての結果である。

半数以上の回答者は、オンラインの日タイ辞書を利用していた。<http://www.siamkane.com/>はアクセスできなくなったことから、今後利用する学生もいなくなるであろう。また、学習者が使用しているその他のサイトとして、translate.google.comなどが挙げられた。

表6 日タイのウェブ辞書の利用

	2012年		2014年	
	合計	(%)	合計	(%)
http://dict.longdo.com/	78	86	62	84
http://www.jtdic.com/	65	71	56	76
http://www.siamkane.com/	54	59	37	50
http://www.j-doradic.com/	46	51	46	62

では、オンライン国語辞典や和英辞典はどうかというと、以下に結果を示すように、知っていることは知っているが、日タイ辞書ほど広く知られていないことが分かる。

表7 オンライン国語辞典や和英辞典の利用

	2012年		2014年	
	合計	(%)	合計	(%)
http://dic.yahoo.co.jp/	59	65	51	69
http://dictionary.goo.ne.jp/	52	57	34	46
http://jisho.org/	18	20	19	26
http://www.excite.co.jp/	8	9	4	5
WWWJDIC	8	9	9	12
Kotobank.jp	-	-	26	35

最もよく知られているのは、「Yahoo オンライン辞書」と、「goo 辞書」である。今回の調査でさらに追加されたのは、Kotobank.jp である。その他のフリーバージョンウェブ辞書、例えば ejje.weblio.jp, linguee.jp, saiga-jp.com などについての記述もあった。

次に、携帯電話のアプリケーションとして利用される辞書については、7つのアプリケーションについて調査した。約半数の学習者が知っていたものは、以下の3つであった。

「JTDic」と「Longdo」はタイ語があるので理解しやすい。「Imiwa?」にはタイ語がないが、色々な意味、動詞の活用形、若者言葉も載っている。また、部首から知らない漢字の意味や読み方を調べることもできることから、学習者に高く評価されている。以下は学習者が利用しているその他のアプリである。Jishokun, Dict Box, JEDict Lite, Makimono, Tあ NGO MASTER 等。

表8 オンライン国語辞典や和英辞典の利用

	2012年		2014年	
	(91)	(%)	(74)	(%)
「Jtdic」日タイ (オフライン)	58	64	43	58
「Longdo」多言語 (オンラインのみ)	44	48	32	43
「Imiwa?」和英辞書	42	46	38	51

T あ NGO MASTER (Window phone) は、語彙も漢字も同じプログラムで調べることができる。漢字は部首からも検索できること、音声機能が付いていること、品詞を表示していることに加え、漢字と語彙をゲーム感覚で練習できるというものである。ただし、タイ語ではなく英日辞典であるため、理解不十分なところはあるかもしれない。

学習者はそれぞれの辞書の特徴をきちんと把握し、必要最小限の、日タイ辞書、漢字辞典、文型辞典を抑えている様子が見えてくる。

表9 学習者の書籍の辞典の所持率 (複数回答可)

	2012年		2014年	
	(91)	(%)	(74)	(%)
回答者総数				
ソーソー一日タイ辞典 40000 語	55	60	41	55
Kodansha's compact kanji guide (タイ語版)	33	36	30	44
日本語基本文型辞典 (タイ語版)	17	19	16	22
漢字辞典 (携帯タイプ) 1945 字	-	-	15	20

4. 5 現在よく使用している辞書について

今回の調査で分かったことは、学習者がよく使用している辞書は様々で、一概には言えないが、よく使用する辞書トップ5は以下のものである。

1. 携帯アプリ/ウェブ辞書の JTDic (29 回答)
2. 携帯アプリの Imiwa? (25 回答)
3. 携帯アプリの日タイ辞典 (20 回答)
4. 携帯アプリ/ウェブ辞書の Longdo (14 回答)
5. 書籍の辞書日-タイ辞典 40000 語 (10 回答)

4. 6 辞書に対する要望

自由記述の回答として、辞書に対する様々な要望が寄せられたものを、以下にまとめた。

1. 豊富な用例記載のある辞典
2. 品詞、活用形、文法、音声、アクセント、イントネーションを搭載する辞典
3. 漢字の読み方や筆順がわからなくても手書きまたは画像で調べられる辞典
4. 語の意味説明以外に、類義語、反対語、共起可能な語句、具体的な用法を示す辞典

情報技術の進歩のおかげで、学習者のニーズに応えるようなプロジェクトが数多くある。2013年に公開した <http://dictionary.j-cat.org/> (自動音声読み上げ機能付きの日英日本語学習者辞書) や、<http://corpus.tsukuba.ac.jp/> (用例文型を容易に検索できる筑波ウェブコーパス) (砂川他 2013) は、海外の日本語教師にとって大変有用なリソースであるので、今後の活用が期待できよう。一方、アンケートの対象者である初級・中級の学習者が未だ母語で説明する辞書に依存し、豊富な用例を求めていることから、初級や中級学習者にとっては、語彙の意味を調べ複数の単語が出てきた場合にうまく語彙を選択できないケースも多く、語彙学習支援にはもう一工夫が必要ではないかと考える。

5. 語彙教材作成の試み

日本語学習者の初級から中級後半の習得累積語彙数が9995語あるという(川村2014)。学習者辞書を編纂するならば、収録語数1万語あれば中級まで活用できるということになる。教育現場では、授業で扱える語彙数が少ないので、語彙指導のための教材の開発が必要不可欠である。中條清美(2009)望月通子(2012)石澤徹(2014)の研究に様々な工夫がうかがえよう。また、用例ウェブコーパスと学習者の誤用コーパスを活用した語彙教材も有用だと考える。

1) 学習者の誤用を活用した教材

ここで、<http://www.tunihongo.org/goyoo/>にあったタイ語の発想から生じた誤用を例に、語彙教材の案を提示する。以下は添削されて戻ってきたタイ人学習者の誤用例である。

- * 大学における先生の役割は授業をするだけでなく、学生の独創性を向上しなければならない(→伸ばす)こともある。

この場合、「向上」が「伸ばす」に修正されている。「独創性」には「向上」が使えず、「伸ばす」を使うのだと理解できよう。ところが、実はこの「向上」という言葉の裏に、タイ語の「パッター」があった。この単語は意味範囲が広く、共起する語彙により「向上」、「発達」、「発展」、「開発」など、様々な訳が与えられる。そこでウェブコーパス学習者のレベルを配慮しながら、混乱を招きそうな語彙をまとめて解説する語彙教材があれば、不適切な表現の産出をいくらか防ぐことができるであろう。

パッター(พัฒนา)	共起可能な語彙
向上 ยกระดับให้ดีขึ้น	質, サービス, 意識 水準
発達 เจริญเติบโตของร่างกาย	人間, 子供, 言葉, 筋肉
発展 ส่งเสริมให้ก้าวหน้า มีคุณภาพดี	研究, 社会, 科学, 医療, 発展途上国
開発 สร้างสรรค์สิ่งใหม่ๆ	商品, 製品, 都市

2) 音声付きの語彙教材

単語や語句の単位より大きな単位で習得する必要がある表現、例えば、「お世話になります」、「脂っこい食事は控えてください」にある、「世話」や「控える」のような単語は、短い文章で提示することにより、文脈の中で文字と音声とを同時に捉え、すぐに役立つ表現として学習できるのではないかと考える。このような語彙教材は試験的に授業で活用し、ウェブ上でも公開している。<http://www.tunihongo.org/choukai/>を参照されたい。本ウェブ上の語彙教材の有効性については、今後検証していく予定である。

6. まとめ

以上、タイ人日本語学習者の辞書使用の実態調査の結果を報告し、タイ人日本語学習者の語彙教材の開発の案を提示した。以下のようにまとめられる。

1. 最近の学習者は、書籍の辞書や電子辞書を所持してはいるが、日本語学習に最も活用しているのは携帯電話用の辞書アプリである。辞書の媒体が変わりつつあると見受けられる。

2. 豊富な用例を搭載した、良質な日タイ、タイ日辞書が切実に求められているが、現在では、タイ人日本語学習者は、複数の辞書を駆使しながら、必要に応じて日日辞書を利用している。四苦八苦しながら日本語学習に挑んでいるのが現状である。
3. 教育現場にいる教師は、語彙学習を支援するには、良質の辞書を紹介すると同時に、母語の発想を汲み取って適切な語彙学習教材を開発していくことが必要であろう。

以上のように、学習者の辞書使用の実態調査から既存の辞書の改良すべき点分かった。また、辞書のみならず、中上級学習者にとっては、理解を助ける語彙学習教材も必要と思われる。情報技術を活用する音声や動画による語彙教材の開発が待たれるであろう。

付記：本研究の一部は住友財団「アジア諸国における日本関連研究助成」で行われたものである。

参考文献

- 金庭久美子, 川村よし子, 前田ジョイス (2006) 「日本語学習者のための電子辞書編纂の基礎調査—辞書利用についてのアンケート調査—」 *Japanese Language Education in Europe* vol. 10, 77-82.
- 川村よし子 (2014) 「日本語読解支援システム『リーディング・チュウ太』の難易度判定ツール」 <http://chuta.jp/Archive/単語チェッカーPPT>.
- 鈴木智美 (2012a) 『留学生の文章産出時における辞書使用の実態調査—言いたい日本語はどう見つけるか—』平成 22 年度 (2010 年度) ~平成 23 年度 (2011 年度) 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究 研究成果報告書
- 鈴木智美 (2012b) 「留学生の辞書使用についての実態調査—東京外国語大学で学ぶ留学生へのアンケート調査の結果と分析—」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』第 38 号, 1-16.
- 鈴木智美 (2012c) 「留学生は言いたい日本語をどう見つけるのか—留学生の文章産出時における辞書使用の実態調査—」『2012 年日本語教育国際研究大会予稿集』第 2 分冊 p. 164.
- 鈴木智美 (2014) 「日本語学習者の辞書使用に関する Can-do 記述の試み—アンケート調査自由記述欄の質的分析をもとに—」, 34-37.
- 砂川有里子・李在鎬・高原真理 (2013) 「学習辞書編集支援データベースの構築」
<http://jishokaken.sakura.ne.jp/doc/Malaysia/M1.pdf>
- 中條清美, 田辺和子, 木下謙朗, 三橋麻子, 西垣知佳子 (2009) 「コーパスを活用した日本語教材作成の試み」日本大学生産工学部研究報告 B2009 年 6 月第 42 巻, 43-52.
- タサニー・メーターピスィット (2013) 「タイ人日本語学習者の辞書使用状況の調査」
<http://jishokaken.sakura.ne.jp/doc/Malaysia/M5.pdf>
- 望月通子 (2012) 「基本語化を考慮したカタカナ外来語の学習と教材開発」『外国語学部紀要』第 6 号, 1-16.